第55回 全日本中学生ホッケー選手権大会確認事項《チーム・競技役員用》

男子会場　TD:平尾　豊　、U15カテゴリー部会事務局次長:徳光　寿

女子会場　TD:馬場 治男　、U15カテゴリー部会事務局長:久保 克敏

令和7年8月15日(金)

【男子/香川県会場】

・監　督　会　議　　(14:30~/綾川町　綾上農村環境改善センター)

・競技役員ミーティング　(20:00~/高松東急REIホテル　3F「讃岐」)

【女子/愛媛県会場】

・監　督　会　議　　(14:30~/松前総合文化センター　ふるさと学習室)

・競技役員ミーティング　(20:00~/ウェルピア伊予　2F「芙蓉の間」)

◆事前練習

・ウォーミングアップはウォーミングアップエリアで行う。

・試合前の定められた時間に、指定された練習エリアを使う。(目安:前々試合の後半～前試合前半終了)

・競技会場内は、安全のためボールを使った練習はドリブル、プッシュによるパスまでとする。(ゴールの設置はなし。シュートは禁止。)

・試合場での、試合開始前の事前練習については 30 分前から認める。

＊ただし、競技役員の指示に従うことを条件とする。また、*2*試合目以降についても認めるが、試合開始前の集合に遅れないことを条件とする。(実際には *2*試合目以降の練習実施は難しい)

◆メンバーチェック等

1. スターティングリストの提出は行わず、メンバーチェックの際に監督から先発メンバーの申告をする。

＊チームユニフォームが重複した場合、両チームの監督により、友好的な解決をお願いしたい！(事前確認を)
ただし、TO・アンパイアの判断により変更を求めることもあるので、必ずピッチに2着準備をしておくこと。
＊公式記録用紙の訂正(誤字等の訂正)は、参加受付時に行う。以降の訂正は認めない。

2. 各チームは、試合開始15分前までに次試合テントに待機していること。(10 分前を目処にメンバーチェックを行う)

なお、各チームの監督は、メンバーチェックの前に、下記の点について確認・協力をお願いしたい。

・監督はスターティングメンバー6 人(GK 含む)の申告をする。

・『登録証』(個別に持参／顔写真の添付)を用いてメンバーチェックを実施する。

・選手の健康状況についての観察。

(明らかに熱中症などの症状を呈する選手について⇒TOの判断で、試合に参加させない場合もある)

・腕時計等、アクセサリーや金属の装着は不可。

《実験的施行》髪をまとめる目的でヘアピン等の使用を認める。但し、飾りのついたものは不可。

・「スティックチェック」・・・規格に合っているか？JHA公認シールは？スティックの破損はないか？

＊穴・破片が飛び散る可能性があるものは使用を控えてもらう場合もある！
＊全ての試合前に、リングパス及びスティックの破損状況など慎重にチェックする。

・GKのアンダーパットの装備

＊確認はしないが、チームの責任で必ず装着させること。

・「マウスガード」の装着

＊メンバーチェック時に確認あり。「未装着届」が提出されている選手については装着を免除する。

＊「未装着届」が提出されていないが、紛失等の理由で装着することができない選手を参加させる場合は、「マウスガード未装着選手の出場に関する覚え書き」に監督がサインすることにより出場を認める。《R6 より》

上記「覚え書き」の用紙については、テクニカルテーブルに準備しておく。

・アンダーウェア（上）については同色の着用を認める。ロングアンダースパッツ（下）は認めない。

・帽子の着用は認める（本来は不可であるが、熱中症予防の対策として。）ただし、着用にあたっては、ツバを後ろに向け相手に危険の無い状態を確保する。

・ヘアバンド、リストバンドについて、今年度は特に制限をかけない。

3. PC時に使用する「マスク」「グローブ」等も、試合開始前（メンバーチェック時）にTOの確認を受ける。

◆ベンチ

1. ベンチには、今大会に「選手（12名以内）」「スタッフ（監督1名・コーチ1名以内）」としてエントリーし、日本ホッケー協会に「選手」または「チームスタッフ」として登録した者が入ることができる。
なお、「選手」「スタッフ（監督・コーチ）」は、『登録証』を持参してベンチ入りすること。
※選手は１～１２の番号をユニフォームの定められた場所に明示する。
※参加申込みの際、同一校・同一クラブの男女チームの監督を兼ねることはできない。監督とコーチの兼任は可とする。ただし、男女それぞれのチームでJHA のチームスタッフ登録を済ませていること。
※学校部活動チームの監督については教員または、部活動指導員であること。クラブチームにおいては、監督またはコーチのどちらかは**指導者資格を有する者がベンチ入りする**こと。（JSPO：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者　コーチ３以上）
2. 医療スタッフ（手当者）について
・原則パンフレットに記載されている者2名まで　（20 歳以上であること）
・大会期間中に**「手当者」を変更することを認める。（全中大会における特別ルール）**
・いずれの「手当者」も『JHAチームスタッフ登録』を完了し『登録証』を持参してベンチ入りすること。
3. ベンチには、パンフレットに記載された者とTDが認めた者*が入ることを許可する。
*：「校長（学校部活動）」「チーム代表者（地域クラブ）」「メンバーに入れなかった同性の3年生（体操服などユニフォーム以外のそろいのシャツを着る）」等を認める。
「校長（学校部活動）」「チーム代表者（地域クラブ）」「メンバーには入れなかった同性の3年生」ともに実行委員会が用意する『IDカード』を持参する。（ID カードを入れるホルダーは、代表者用のみ実行委員会から配布するが、その他については全て各チームで準備すること。）
なお、ベンチ入りできるTDが認めた者の確認は監督会議の場で行う。
4. ベンチは対戦表の先（左側）のチームが、ジャッジ席（テクニカルテーブル）から見て左側（男子会場：赤色テープ／女子会場：青・白ストライプ天幕のテント）のベンチに入る。

◆試合開始時・終了時のセレモニー

《開始時》試合開始 1 分前に、「ジャッジ席前整列」～「トス」～「ジャッジあいさつ」～「コートへ散る」
《終了時》「センターであいさつ」～「わかれ」

※時間短縮のため、ジャッジテント・相手チームへのあいさつは行なわなくてもよい。
※監督は、公式記録用紙のサインを速やかに行う。⇔スムーズな競技進行協力を！
※各チームは、試合後、速やかに撤収するよう協力をお願いしたい！

◆競技中

【競技時間】

・試合時間については、15分の前後半（前後半の間に5分の休憩）が本来のルールであるが、昨今の猛暑による危険な状況を踏まえ、選手の安全を配慮し、今年度5月のU15カテゴリー部会第1回常任委員会の決定により、下記の通りルールを大幅に変更して実施する。（JHA競技運営部の承認済）

《予選リーグ・決勝トーナメント／全試合》

7分間の4クォーター制とし、第1・第3クォーターの後に1分間の休憩（コーチング可）、第2クォーターの後に5分間の休憩を設ける。（時間はテクニカルテーブルで管理）

1Q	ｲﾝﾀｰﾊﾞﾙ	2Q	ﾊｰﾌﾀｲﾑ	3Q	ｲﾝﾀｰﾊﾞﾙ	4Q
7分間	1分間	7分間	5分間	7分間	1分間	7分間

原則、オンタイムで行う。（TOから休憩の残り時間を知らせる）

・全ての試合において延長戦はなし。決勝トーナメントについては、即SO戦を実施する。

【フィールドへの立ち入り】

試合中、選手にケガ等が起こった場合は、ベンチ内にいる医療スタッフ（手当者）の 1 名及び監督・コーチ*のどちらか1名が、当該審判員の許可を得てフィールド内に入り、手当てを行うことができる。（ただし、その際にコーチングをすることは厳禁）

*：*中学生の指導現場における実情を考慮し、負傷時等の対応としてコーチを特例として認める。*

【ルール確認／レギュレーションに記載内容】 ※2023 年以降の変更点のみ

（1）落下地点でレシーブしようとしている選手に対し、4mより離れた地点から近づいてボールをインターセプトすることができる。上げられたボールを受け取る側がボールに触れた瞬間に相手側がプレイすることが可能になる。（危険と判断された場合はこの限りでない。）

（2）PCの際、守備に入らない守備側選手、罰則を受けて攻撃や守備に参加できない選手は、全て相手側16mエリアに位置する。

（3）SO戦は、ゴールラインからフィールド中央の16m地点にひかれた16mスポット上から行い、開始の合図から6秒以内とする。

（4）PCにおいて守備側のフリーヒットでゲームが一旦途切れて再開される場合、PC用の防具を全て取り外してからプレイしなければならない。

（5）PCがあたえられたとき、すべての守備側選手は、顔面または頭部全体を保護するフェイスマスクを着用すること。ただし、特別な理由があって装着できない場合は、「未装着届」を必ず提出すること。

なお、PCが完遂するまでフェイスマスクは着用していなければならない。PCが完遂する前に守備側プレイヤーがフェイスマスクを意図的に外した場合には、攻撃側に再びPCが与えられる。

【ルール確認／その他6人制の配慮事項】

1) 6人制では基準距離が4mになります。
2) フリーヒット時はボールをしっかり止める。セルフで始める時はポイントの確認・ボールを止める動作を明確に行わせる。
3) リバースプレーについては、危険か否かによる判断でジャッジする。（安全第一の判定を）
4) コーナー(LC)は16m仮想ライン上から。
5) イエローカードによる退場は2分以上。（時間の計測はテクニカルテーブル）
6) グリーンカードによる退場は1分。（今年度より／時間の計測はテクニカルテーブル）

【選手交代】

＊選手の交代は、ジャッジテント前中央付近（ラインで明記）で行うが、交代する選手がコート外に出た後に新たな選手が入ること。

控え選手にビブスを着用させて待機させ、交代の際にビブスを受け渡す方法で交代をするチームがある。この方法は、控え選手を明確にし、選手交代も正確かつ円滑に行われることから、良い方法として奨励される。

【ベンチワーク】

＊ベンチでの指導は、「監督」または「コーチ」の**どちらか一人**とする。

・男子（香川会場）では、ベンチ内で指示する 1 名のみが立ち上がって指示すること。

・女子（愛媛会場）は、コーチングエリア（ローネットまでかつテントの幅）で、立ち上がっての指示を認める。

・医療スタッフ（手当者）はコーチングをすることはできない。

＊アンパイアに暴言を吐いたり、セルフ判定によりゲームを混乱させる行為などは厳しく対処する。
TOからのカードにより、ベンチから退場もあり得る。＊補則
特に指導の必要な監督には、TDおよび中学校部会で対応する。

※実施要項に定めたとおり、大会参加申込をした時点で全ての監督は**「行動規範確認書」に同意したこととなっている。**よって、「行動規範確認書」に示された行動責任を果たすこと。

＊補則：競技運営規程には、「TOのカード提示によりベンチから退場」の記載は無くなったが対処は継続する。

【SO戦（予選リーグの順位決定）】

＊大会レギュレーション_7. に定められた要領にて実施する。

・3 名の選手と 1 名の GK による。

・ゴールラインからフィールド中央の 16m 地点にひかれた 16m スポット上から開始する。

・測定タイムは 6 秒とする。

＊予選リーグの順位をSOで決めなければならない時は、最終試合が早く終わったコートにて順位決定のためのSO戦を実施する。なお、詳細については、放送等により連絡する。

・・・***SO戦の開始時間に残っていないチームは「不戦敗」となる。***

◆決勝トーナメントの組合せについて

＊決勝トーナメント1回戦は、予選リーグ1位チームと2位チームが対戦する組合せとする。
⇔予選リーグ後の抽選会は昨年度より実施していない。
（あらかじめ決勝トーナメントに勝ち上がった際の対戦相手をリーグ戦表に示しておく。）

◆観客の応援について

＊応援について下記の範囲で観戦者のマナーに任せるが、競技役員・大会関係者の指示に従うこと。
（競技の運営に影響が心配される場合、競技運営に支障がないよう改善に協力すること。）

＊鳴り物による応援は、下記の通りとします。

・太鼓による応援は可とする。　※ただし、競技役員（TO、UMP など）からの指示に従うことを条件とする。

・ラッパや笛などによる応援は、審判の笛との判別が分かりにくくなる可能性があることから不可とする。

＊昨今、保護者による応援席からのマナーの悪さが指摘されており、当該アンパイアへの悪影響はもちろん、チームや選手にまで悪影響を及ぼしている現状がある。
各チームの監督は、保護者や応援者へのマナー指導について徹底を図っていただきたい。
なお、競技運営に悪影響を与える保護者・応援者については退場を命ずることもある。この対応については TD 及び U15 部会であたる。

◆安全対策・負傷・事故発生時の対応について

＊負傷により手当要請をした場合、**1分間以上**ベンチで静養する。（GKは除く） ⇔ジャッジ席で計測

＊顔・頭部・心臓付近への受傷については、**本人・チームの意思に関係なく、一旦ベンチに戻り安全確認を行うこと（1分以上／ただし、安全確認後、プレイ可能であればの1分経たなくとも再入場できる）**。

＊GKが負傷した場合

・GKなしのゲームは認めない。

・控えのGKがいない場合、フィールドプレーヤーが防具を着装すること。

＊救護所（室）

・救護所を設置し、看護師等が常駐する。

・また、重大事故発生時には、救急対応する。

・AEDを各会場に設置する。

＊負傷・事故報告書（ジャッジ席に配備）

救急車で搬送された場合、熱中症等で倒れるなど医師の診断を受けるような事故が発生した場合には以下の手順により、「負傷事故報告」の提出が義務づけられている。

1. TOが監督に負傷事故報告書を渡す
2. 医師等の診断
3. 事故報告・経過報告・医師の意見を記入
4. 記入された用紙をTOに渡す。（直接渡せない場合はメール等による提出も可） TO→TD
5. 試合が翌日の場合は、翌日にTOに用紙を渡し、経過説明。
6. スターティングリスト提出時に、本人の健康確認をTOまたはTDが行う。

なお、事故と同一日に次の試合がある場合、**無診察**(素人判断のみ)**での試合出場は認められない**。

⇒【別紙／『スポ少・中学生大会等 1 日に複数試合を行う場合の「負傷事故報告書」の取り扱いと負傷者の試合続行に関する留意点」】に従い安全第一の対応をお願いしたい。

＊猛暑時の対応については、監督会議でTDより方向性を示す。当日の判断はTDが行う。

※熱中症警戒アラート発令中は、上記によりTDが最終判断する。

※**熱中症特別警戒アラート発令中**については、**各会場地自治体の決定（通知等）に従う**。

＊近年の急な天候変化等により、緊急の監督会議招集やTDからの通知により対応する場合がある。

◆その他

＊カメラマン（卒業アルバム等作成のためのチーム随行カメラマン）について

・必ず受付を通りビブス等を着用すること。

・カメラマンが随行しているチームの確認 ⇒ 監督会議の場で申告をする。

・必ず、撮影可能エリア内で、大会本部の指示に従い撮影すること。

・・・ケガ等は撮影者の自己責任でお願いしたい。アンパイアの指示には必ず従うこと。

・試合開始のあいさつ時、ハーフ･タイム時のみベンチ周辺での撮影も許可する。

＊ベンチ内での撮影について

・ベンチに入ることが許される者が、ベンチ内（テント内）で、競技に支障を与えることなく撮影することは許可するが（カメラ・ビデオともOK）、ジャッジ席からの指示には速やかに従うこと。

当大会および競技に関して、ご不明な点などがございましたら、各チームの監督（顧問の先生）を通して、大会TD（平尾・馬場）までご質問ください。